原っ子

学校だより №46（通算89号）
令和６年３月８日
小郡市立大原小学校
校長　山本貴澄　Tel 72-5500

合言葉「チャレンジ！ みんなで学ぶ やりとげる」
３月のめあて「１年をふり返り、まとめに取り組もう」★卒業式まであと４日！

【大掃除の様子】

６年生感謝の会
～お家の人へありがとう～

今週の月曜日、６年生がお家の方を招待して「感謝の会」が開かれました。子どもたちは、手作りのサンドウィッチでお家の人をもてなし、家庭科の時間に製作したコースター、ティッシュケースや合唱をプレゼントし、心をこめて書いた手紙を渡して感謝の気持ちを伝えました。日頃は、なかなか言えない「ありがとう」の気持ちを伝える機会をもつことができました。今度は、卒業式での姿で感謝の気持ちや中学校生活への期待と夢をお家の人や地域の方々にしっかり伝えてくれることと思います。

【サンドウィッチ作り】

【合唱のプレゼント】

【６年間の思い出鑑賞】

【お家の人と歓談】

学年最後の学級分会、ご出席ありがとうございました

それぞれの学級で一年間の子どもたちのがんばりや伸びについて担任からお伝えしました。たくさんの学習や行事、友達との関わりの中で、心や体、知的な力など、ぐんと成長した子どもたちです。これまでの成果や課題を確かめながら、来年度の教育活動へつないでいきます。

２年生 生活科「ぐんぐんそだて わたしの野さい」
～お野菜先生へありがとう～

２年生は、生活科「ぐんぐんそだて　わたしの野さい」の学習で野菜作りに取り組みました。お野菜先生で、地域にお住まいの田中さん、森山さん、原武さんに手伝っていただいて、立派な野菜が収穫できました。トマト、ナス、ピーマン、きゅうり、さつまいもを育てました。採れた野菜はお家に持って帰って食べました。さつまいもは、給食のみそ汁の具材にもなりました。お世話になった三人の方には、朝の登校見守りもしていただいていました。感謝の気持ちをこめてお手紙をわたしました。とても喜んでいただき、「あいさつをしっかりして、３年生でもがんばってください。」と励ましの言葉をいただきました。大変お世話になりました。ありがとうございました。

学校運営協議会（第４回）を開催しました

【報告・協議内容】２月２９日（木）開催

□学校運営協議会委員による評価と改善策　□来年度の学校経営方針案　等

【学校運営委員による評価と改善策】

□地域の方に、学校に入ってもらえる場づくりの工夫が大切だと考えている。その際、行事の重要性や地域とのつながりがなぜ大切なのかを共通理解することが大事だと思う。
　→大原きぼうの森館内に設置された「協働のまちづくり協議会」の各部会と学校の取組において、連携して取り組めるものがないかを協議し、カリキュラム化を検討する。

□ ICT 活用力の向上には、教職員のさらなる研修も必要であると同時に、タブレット（イ

ンターネット）に潜む様々な危険な面も合わせて取り組まなければならない。
→ ICT 支援員の協力も得ながら、教職員の ICT 活用能力を高めるとともに、PTA とも協力しながら児童の ICT 機器を使う上でのルールづくりに取り組む。

□学力保障・個性伸長のため、個別学習やグループ別学習、繰り返し学習、課題選択学習など一人ひとりの子どもの特性や教育的ニーズに応じ計画的に行われている。
→子どもの困難さや課題を改善していくため、子ども理解や状況把握に努め、共通理解を図り、早期に改善策を考え実践していくようにする。

□今後も人権教育はとても大切だと考える。小さい頃に傷ついた心が言えるのには時間もかかり、将来のトラウマにもなる。LGBTQ などへの考え方も含め、しっかりとした基礎をつくってあげてほしい。また、教育する側ももっと勉強し、知識と体験を積む必要があると思う。
→来年度も、人間関係の基本である「あいさつ」の習慣化を学校・家庭・地域で実践し、互いに気持ちのよい人間関係を築いていくための土台づくりに取り組む。その上で、言葉ついての学習などを取り入れることで、差別的な発言を生まない環境づくりを目指す。

※ご意見をいただいた中で、主なものについて載せています。

【来年度の学校経営方針案】

子どもが楽しく安全に過ごせ、居場所のある学校に！

★考え、分かり、楽しい授業　★学び合い、助け合う集団づくり　★信頼される職員

【学校目標】「意欲的に学び　友だちとともに　たくましく生きる　原っ子の育成」
【重点目標】「主体的に動き　学び合い　やり遂げる集団づくり」
【子どもの合い言葉】「チャレンジ！　みんなでまなぶ　やりとげる」

【学習づくり】　※授業改善への意識と実践・習慣化

〇学習問題（めあて）を捉え、自ら考え、友だちと考えを伝え合いながら、自ら答えを見つけていく力→自己肯定感を味わい、自信につなげ、学ぶ意欲を高めていくために
- 学習問題（めあて）を自ら見つけ、自分の考えをもち友だちと協働して答えを見つけ、自分でまとめる授業の積み上げと習慣化　※教師主体の授業からの脱却　子どもの活動時間の保障
- 自ら生き生きと活動する場（話す、書く、対話し交流する、タブレットを活用する）の確実な設定と習慣化
- 学習時間に集中して取り組む意識や態度の向上（学習規律や原っ子モデルの再確認）
- 学力向上プランの継続と確実な実践　・追究したことの発信の場の設定

〇学習内容の復習・基礎学力の確実な定着
- 朝の読書活動の習慣化　・学力の厳しい子への確実な支援
- 宿題など間違えた問題のやり直し（答えを見て直すのではなく、間違えた理由を考える）

【生活づくり】　※子どもの思いを大切にした指導・支援

〇友達同士進んで関わり合い、認め合い、大切にし合う力→友達とともに伸びることを実感し、学校・学級を安心できる場にするために
- 授業や学校行事、学級活動などで子どもたち同士が進んで関わる場の設定
- 生活アンケート（いじめ防止）、アセス（学級適応感調査）、教育相談の実施と情報の把握とその対応、学級アンケート（学級をみんなでよくする意識を高めるために）
- 子どもの行動や作品など、一人ひとりへの確かな評価と称賛

〇相手の立場に寄り添う力→互いに気持ちのよい関係を築いていくために
- 自分からあいさつの習慣化（主体性を伸ばす）　・相手のよさを知る取組（いいところ見つけ）
- 言葉についての学習（差別的な発言を生まない取組）
- 昇降口のくつ脱ぎ、くつやスリッパ揃え、廊下歩行、名札着用などの指導と徹底

【体力・安全な学校づくり】　※体力テストの結果を受けた課題の改善と命を守る指導

〇進んで体を動かし、体力を高めようとする力→運動の機会を増やし、その成果や努力の跡が見られ、自分の成長につなげるために
- 授業はじめの準備運動（体力テストで課題のあった種目を中心に）
- 授業内での運動量確保（汗をかくくらい）　・運動が苦手な子も楽しめる授業づくり
- みんなで遊ぶ日（外遊び）の設定　・体力向上プランの継続と確実な実践
- 原っ子運動会　原っ子検定（縄跳び、ドッジボールラリー）持久走記録会へ目標をもち参加
- 子どもの命を守る指導と研修（避難訓練、安全学習、安全指導、安全点検の徹底、職員の救命救急研修）